

この世の地獄：被爆者たちの証言

ここに紹介するのは、原爆により「この世の地獄」がもたらされたことを示す被爆者たちの証言です。この証言は、「核兵器がいかにして人類を破滅へと導くのか。」、すなわち、世界中の大多数の国によって認識されている「核兵器が人類にもたらす壊滅的な結末」を明らかにしています。

このような核兵器の壊滅性についての共通認識をベースキャンプとして、「核兵器廃絶」という山の頂を、粘り強く、共に目指していただきたいと思います。

【熱線による被害】

「(爆心地付近で被爆した直後に)建物の外に出ました。練兵場の方へ逃げようとしたのですが、一面火の海でした。まさに火の海です。銀行の裏のお寺もつぶれて燃えていました。」(高蔵氏)

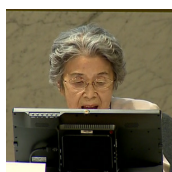


燃えるヒロシマの街と電車
作者：高原良雄／
提供：広島平和記念資料館



逃げてくる被爆者の列
証言者：高橋昭博／
(公財)広島平和文化センター制作、
広島平和記念資料館所蔵

「(避難)途中で多くの被爆者が列をなして逃げていくのに出会いました。みんな両手が前にぶら下がっていて、服もぶら下がって、裸同然の人もいました。上半身にガラスの破片が突き刺さったり、皮膚が全部めくれてしまった男性や、眼球が飛び出して、全身血だらけの女性もいました。内臓が破裂した死体が転がっており、大火傷を負った母親と赤ん坊も道端に転がっていました。赤ん坊はギャーギャー泣いており、その泣き声が今も私の耳から離れません。生き地獄という言葉がありますが、私たちが体験したあの被爆の状況が、まさに生き地獄であったと思います。」(高橋氏)



梶本淑子氏

「爆心地からお化けのような人たちがやってきました。両手を前に差し出して、焼けた皮は剥がれ、爪のところで止まって、ポロ布が垂れ下がっているように見えました。着ている服は吹き飛ばされたのか、焼かれたのか、丸裸です。顔は風船のようにふくれ、唇はめくれ、頭から体中から血を流して、ヨタヨタと人の後ろに付いて並んでくる姿は、お化けの行列のようでした。中学生の男の子が、自分のちぎれた腕を持って私の方にやって来て、目の前で死んでしまいました。その時の男の子の怖い、悲しそうな顔は、今も忘れることはありません。死んだ赤ちゃんを抱いたお母さんが何かわからないことを叫びながら、グルグル回っていました。気が狂っています。そんな無残な姿をした人がぞくぞくやって来ます。

どれも人間の姿ではありませんでした。…街の中は死体でいっぱいでした。死体を踏まないように歩くんですが、皮をぶら下げたまま死んでいるので、仕方なくヌルヌルとした皮を踏んだことをはっきり覚えています。今もあの感触を忘れることはありません。道には、目が飛び出ている人、内臓の流れている人、肉片が転がっていたり、血の匂いやら、それはそれは地獄です。」(梶本氏)



「本当に、おとうさん？」
作者：小川美波／
提供：広島平和記念資料館

「戸板に寝ている父の姿は、生きている人とは思えませんでした。顔は大きく腫れ上がって、着ているものは焼かれて体中が真っ黒に光っていました。声を聞いて初めて父だと分かりました。薬は何もなく、キュウリやジャガイモをすりおろして湿布代わりになりました。体が焼けて暑いからすぐ乾きました。触ったらズルッと黒いところがむけて、下から赤みが出ました。表面だけでなく、内部まで火傷をしていました。…父は、行方不明の母と幼い私たちのことを心配しながら、8月8日の夜に息を引き取りました。」(笠岡氏)



笠岡貞江氏

【爆風による被害】

「(中学校の校庭で)私たちはみんな、空を仰いで指差しながら、飛行機が通るのを眺めていました。その時です。ものすごい轟音(ごうおん)がして、あたり一面真っ暗闇になりました。一寸先すら見えないという状況になったんです。その時私自身はすでに爆風で吹き飛ばされていました。…明るくなってから気づいたのですが、10メートルくらい後方に吹き飛ばされていました。友人たちもみんな吹き飛ばされて、校庭のあちこちに倒れていました。学校も近所の家も崩れて、遠くを見ても広島町の一切無くなったという感じでした。」(高橋氏)

「(潰れた建物の下からなんとか外に出ると)広島はべちゃんこに潰れていました。あれほど熱かった太陽もありません。暗くて、静かで、魚が腐ったような異様な匂いがして

いました。(建物の下から)出てきた友達が5、6人いましたが、髪は逆立ち、体中が真っ黒で、頭から血を流している者、腕の肉がちぎれて皮がぶら下がっている者、足の肉が取れて骨が見えている者。白いユニフォームは、血で染まっていました。みんな半狂乱でした。私の下敷きになっていた友達が一番ひどい怪我で、腕がブラブラ、皮一枚で繋がって、骨が見えて、それはかわいそうで見るのが怖いようでした。」(梶本氏)

【放射線による被害】

「私は8月いっぱい寝たきりで、食欲はなく、高熱が出て、歯茎から大量の出血がありました。腕の傷は化膿^{かのう}して、帰った時は蛆虫^{うじむし}が湧いて、祖母が泣きながら割り箸で一つ一つ取ってくれました。…父は、爆心地から2.5キロ離れた自宅で被爆して、火傷も怪我也なかったのに、1年半後血を吐いて、間もなく亡くなりました。これは私を探すために、死体をひっくり返しなが、3日間焼け野原を歩いたために、残留放射線を浴びたからだと思います。…私はその後、1999年、胃がんのため3分の2を摘出する手術を受けました。多くの友達も癌^{がん}で亡くなっています。80年経った今でも新しい病気が出て、貧血や脳腫瘍で苦しんでいます。」(梶本氏)



あらいしけんいちろう
新井俊一郎氏

「実は、私今6番目のがんを患っているんです。最初のがんを患ったのは1984年、私が50を過ぎた年代。この時最初の右の腎臓がんを患って、後いくつかのがんを患って、生死の境を過ぎてきたんだけど、医師がおっしゃいました、新井さんは典型的な放射線を原因とする多発性がんの患者であります。今、再び腎臓がんを患っていますが、これはもう手の打ちようがない。そして、ステージはもちろん4。これが私の現在の宿命です。ということは、全て80年前の広島原爆の影響というのは、80年前に終わったのではなくて、現在も日本中にいる被爆者全員に、何がしかの私のような影響を及ぼしている ということを、今の私は生き証人としてそれを証明することになるんだと。」(新井氏)

【広島市内の惨状】

「矢賀駅のプラットフォームに降りたと思ったら、動物を焼いたような、腐ったようなすごい悪臭が漂っていました。目や鼻を刺すようで息が詰まりそうでした。ようやく慣れて、目を開けてびっくりしました。昨日までそこにあった広島^{ひろしま}の街が、沢山の家が、きれいに消えてないんです。あちらこちらでまだ煙がくすぶっていました。」(河野氏)

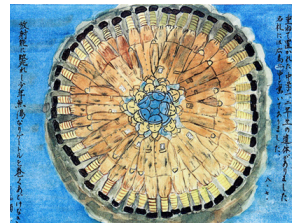


こうの きよこ
河野キヨ美氏

「市内に入ると、そこらじゅう死体がいっぱい転がっているんです。熱線に焼かれた人間の体は、茶褐色になって、大きく膨らんでいます。男か女かもわかりません。目玉が流れ

てゼリーのようになっていました。舌が三角で飛び出して、角になっています。内臓が破れて、卵焼きのような色をしています。脳みそも流れていました。私の一生で一番怖かった記憶です。」(河野氏)

「日本赤十字病院は、爆風で窓がみんな吹き飛んで、大変なことになっていました。あちらこちらから、血まみれの人が沢山運ばれてきます。そして、植え込みにも、玄関にも、廊下にも、寝かされているんです。並べられているんです。その人達が、『痛いよ、痛いよ、助けてください、水をください、お母さん。』と叫び、浴衣を着たお婆さんは、『私は年寄りだから、いっそのこと、はよ殺してください。』と。そのような叫びが、病院のコンクリートの壁に反響して、大きなうなり声になっていました。医師・看護婦さんも、沢山怪我をされて、人手が足りません。…日赤の車寄せには、大きな丸い花壇がありました。いつもはそれが青々と茂



日赤の花壇の上の遺体
作者：河野キヨ美/
提供：広島平和記念資料館

っていたのに、その日は少年の死体が、丸太棒を積んだように、無造作に積み重ねてありました。あの辺で建物を壊す作業をしていて、集まって被爆したんだと思います。栄養が足りないので、中学1年生といっても、小学校5年生位の体格でした。

あどけない顔をして、眠っているように見えました。きっと家に帰り、お母さんに会いたかったと思いますが、誰一人親御さんに看取られずに、ひとまとめにして焼かれてしまったようです。」(河野氏)

「御幸橋^{みゆきばし}の上から川面を見ると、真っ白な死体が、上を向いたり下を向いたりして、沢山波に漂っていました。…爆心地近くで、1台の電車を何気なく見ると、中に黒いものがぶら下がっていました。何だろうかと思って見ると、吊革^{つりかわ}を持った腕が体からちぎれて、腕だけ残って炭のようになっているんです。人間の姿がないのにね。電車の中に、腕ばかりぶら下がっていたのです。…福屋デパートの前に兵隊さんたちがしゃがみ込んでいました。この兵隊さんたちは、血も流していないし、洋服も汚れていません。不思議でしたが、後から考えると、放射線を浴びて、亡くなっていったんだと思います。」(河野氏)



吊革を握ったままの腕
作者：河野キヨ美/
提供：河野キヨ美

「市内に入ると、そこらじゅう死体がいっぱい転がっているんです。熱線に焼かれた人間の体は、茶褐色になって、大きく膨らんでいます。男か女かもわかりません。目玉が流れ

核兵器の非人道性・反人間性を理解するために：被爆者の証言
(19分間の動画)

